

## はじめに

インターネットの普及に伴い、いつでもどこでも子育ての記事が読めるようになりました。その一方で、「あまりに情報が多すぎて何をヒントにしたらよいかわからない」と戸惑うケースも少なくないようです。

倫理研究所の個人会員組織である全国の家庭倫理の会では、幼児期や学童期の子供を持つご両親を対象として、定期的に「子育てセミナー」を開催しています。参加された二十〜四十代のご両親は、どなたも一様に「子供はなかなか親の思い通りにならない」と話されます。そこには、子供と真摯に向き合っているからこそ、子育てに戸惑ったり悩んだりするお父さん、お母さん方の実情が見えてきます。

親の立場からすると、どうしてもわが子の欠点や短所を改めさせよう、直そうとがちです。果たして、それで子供は健やかに育つのでしょうか。昔から、「子は親を映す鏡」と言われます。それは、親の考え方や言動が、そのまま鏡のように、子供に映し出されるという意味です。

本書はその書名の通り、「親自らが変われば子供も変わる」ということを軸に、二十四本のご相談について回答しています。

これについて、倫理研究所では七十年も前から数多くの育児体験を集めて研究を積み重ね、「親子相関の原理」（子は親の心を実演する名優である）を立証しました。

親と子供が、顔や姿、性格が似ているのは誰でもお分かりになることと思います。しかし、そればかりではなく、その時々親の心の在り様までも、わが子に表われるのです。

例えば、次のようなケースに思い当たらないでしょうか。

赤ちゃんが夜泣きをするとき、その前に親夫婦が口論していた。親が何か心配事を抱えていると、子供がぐずる。夫婦が争っていると、子供が病気になるったり、学校で問題を起こしたり、登校を拒んだりする。

また、過去投影といって、親が子供の頃にしてきた通りのことを、わが子が同じように繰り返すケースもあります。中には、兄弟、姉妹の中で、一人の子供だけにそれが表われる場合もあります。もちろん、親の善い面も子供に表われます。この

ように、親と子は、見えない通路で繋がっていて、深く影響を及ぼしあうのです。

ですから、何か問題が起こったときは、わが子の発言をよく聞き行動を観察して、〈親の自分は一体何を教えられているのだろうか〉と謙虚に捉えてみましょう。そうして、間違っていた点に気づき、反省に至れば、実践（行動）に移します。問題解決のポイントは、いかなる時も、親自身の自己改革にあるのです。

その結果、家庭によき雰囲気生まれ（薫化<sup>くんか</sup>）、夫婦の仲が改善され、子供の問題行動も自然と改まっていきます。

本書が、育児の指針に留まることなく、父親や母親、夫や妻としての在り方を深く考える契機となり、人としての生き方における道しるべとなれば幸いです。お父さん、お母さんが日々自信をもって子育てに臨まれるよう、切に願っています。

平成三十年二月

倫理研究所

親が変わる 子供も変わる……………目次

はじめに 3

## Ⅰ 幼児編

自分から動かない 10

夜泣きに悩む 15

息子の歯ぎしり 19

夜遅くまで寝つかない 25

好き嫌いをなくしたい 30

子供が落ち着きを取り戻すには 36

我が強すぎる 42

わが子が可愛く思えない 46

## II 小学生編

友達ができない 52

人と同じ物を欲しがる 56

クラスメートが嫌がることをする 59

新しい学校に馴染ませたい 63

母親の財布から金を盗る 68

嘘をつく子 73

私立中学の受験を嫌がる 79

乱暴な言葉遣いをやめさせたい 85

算数が苦手で学校嫌いに 89

### III 中学生編

- 勉強にやる気を出させたい 94
- 引越した後、学校を休みがちに  
中学生らしくない友達との交際  
度々、小遣いを要求する 107
- ノートに「死にたい」と記す娘 111
- 非行を収めるには 117
- 拒食症から救いたい 121